

生徒質問紙から見える学びと生活

本年4月、「令和8年度全国学力・学習状況調査」が3年生を対象として実施されました。教科調査の個人結果については、すでに各家庭に配付していますので、お子さんの学習状況の確認にご活用ください。今回は、生徒質問紙の結果をもとに、本校生徒の学びや生活の様子を岩手県・全国と比較しながら紹介します。数値に表れた本校生徒のよさを確認し、これから大切にしたい点を見つめ、今後の教育活動にどうつなげていくかを考えます。

まなびフェストに関連する7項目から

本校では、年度当初に「まなびフェスト」で10の数値目標を設定しています。そのうち、全国学力・学習状況調査の生徒質問紙に関連する7項目について、本校・岩手県・全国の状況を比較しました(表1)。

7項目を見ると、学校生活の楽しさや、話合いを通じて考えを深めたり、新たな考えに気付いたりできること、地域や社会に関わろうとする意欲に、本校生徒のよさが表れています。また、「授業の内容がよく分かる」と感じている割合も、県・全国を上回っています。一方、生徒一人一人が「自分には、よいところがあると思う」と実感できるようにすることは、さらに大切にしていきたい点です。今後の教育活動では、文化祭をはじめとする学校行事や日々の学習を通して、自分のよさや成長を実感できる学校づくりを進めていきます。

表1

単位：％

項目	本校	岩手県	全国
学校に行くのは楽しいと思う	88.9	85.9	85.4
自分には、よいところがあると思う	77.8	83.3	84.0
将来の夢や目標を持っている	70.3	72.3	67.6
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	77.8	78.6	72.3
授業の内容がよく分かる(国・数・英3教科平均)	78.4	71.7	71.7
話合いを通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりできる	88.9	88.9	87.0
朝食を毎日食っている	79.6	82.5	78.4

※質問文は、趣旨を変えない範囲で一部簡略化して表記しています。

※「朝食」は「毎日食っている」の割合、それ以外は原則として肯定的な回答2区分を合計しています。

※「授業の内容がよく分かる」は、国語・数学・英語それぞれの肯定的回答率を単純平均した値です。

+α 自分の24時間をデザインする

生徒質問紙には、生活時間や家庭学習に関する質問もあります。ここでは、就寝・起床の習慣、SNSや動画視聴等の時間、学校外での学習時間を「24時間の使い方」という視点から見てみます。表2からは、多くの生徒が毎日ほぼ同じ時刻に起きている一方、就寝時刻は起床時刻ほど一定ではないことが分かります。

SNSや動画視聴等の時間が2時間以上の生徒の割合は全国より低いものの、4時間以上は29.6%で約3割を占めています(図1)。学校外での学習時間は、1～2時間の層が最も多く、2時間以上の割合は全国より低くなっています(図2)。これらの結果だけから、SNSや動画視聴等の時間と学校外での学習時間との関係を直接判断することはできません。本校では一つ一つの時間を個別に捉えるのではなく、「自分の24時間をどう使うか」という視点を大切にしたいと考えています。

睡眠、学習、運動、家族との時間、SNSや動画、ゲームなど、それぞれの時間をどう組み立てるか。セルフデザインタイム(SDT)も活用しながら、**自分の生活と学びを自分で調整する力**を育てていきます。

表2

単位：％

項目	本校	岩手県	全国
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	75.9	84.5	80.5
毎日、同じくらいの時刻に起きている	98.1	93.9	92.4

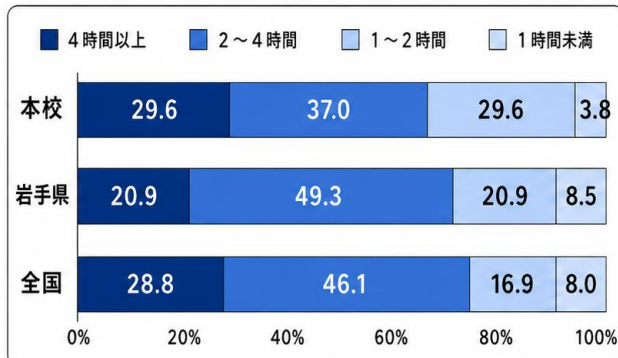


図1 平日のSNSや動画視聴等の時間 ※学習やゲームの時間を除く

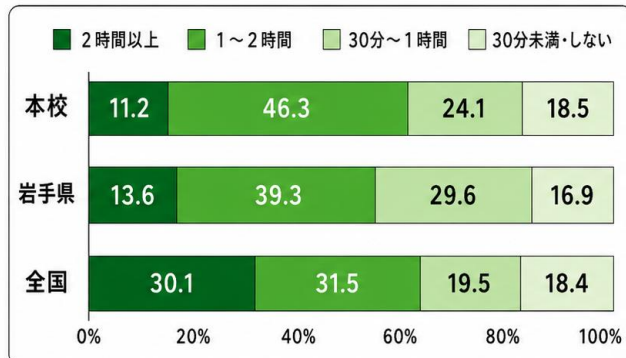


図2 平日の学校外での学習時間